



2024年3月期 第3四半期 決算概要

2024年2月9日
シスメックス株式会社

Together for a better
healthcare journey

Index

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 第3四半期 決算概要
3. 今後の成長に向けた取り組み
4. 2024年3月期 通期業績予想

(補足資料)

- ・ 単四半期業績推移
- ・ トピックス
- ・ XR™シリーズ（ヘマトロジー分野）導入スケジュール

- ・ 当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- ・ 2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。
- ・ 本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

1. エグゼクティブサマリー

第3四半期実績

売上高は、過去最高を達成 (3,265.2億円 前年同期比 : 109.3%)

- 米州、中国、APは過去最高を達成
 - EMEAは、ロシア影響や COVID-19検査需要減をカバーし、前年同等を維持
 - 日本も、COVID-19検査需要減をカバーし、前年同等を維持
- ※中国は、腐敗防止運動の影響は軽微であり、現地通貨ベースで2桁伸長

営業利益は、対前年横ばい (542.1億円 前年同期比 : 99.7%)

- 売上高の伸長や原価率の改善により粗利は増加
- 人的資本強化のための人件費増やデジタル化関連費用の償却開始および円安により、販管費は増加
- その他営業損益の影響※もあり、営業利益は横ばい ※前年度の火災補償金収益 (19億円)

売上高・原価率・営業利益ともに、概ね計画とおりに進捗

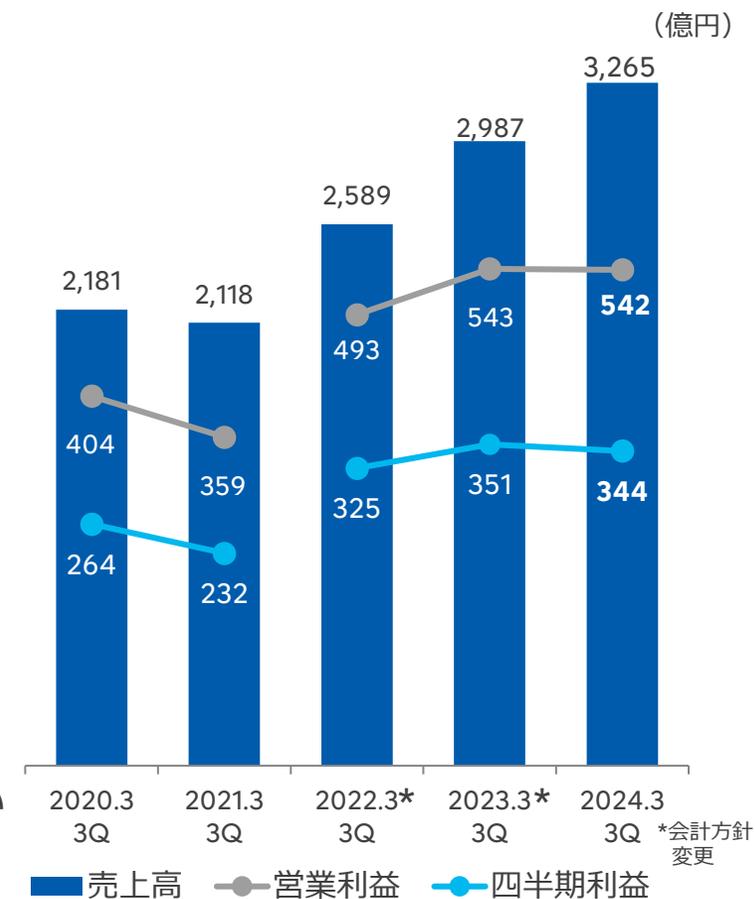
- 各地域のビジネスは順調に推移
- 米州にて一部、4Qへの期ずれが発生し、それを除いては概ね計画とおりに進捗

2. 2024年3月期 第3四半期 決算概要

決算総括（対前年）



(億円)	2024年3月期3Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	3,265.2	100%	2,987.4	100%	109.3%
売上原価	1,547.5	47.4%	1,438.7	48.2%	107.6%
販売費及び一般管理費	958.4	29.4%	815.5	27.3%	117.5%
研究開発費	232.1	7.1%	220.6	7.4%	105.2%
その他の営業損益	15.0	0.5%	31.2	1.0%	48.3%
営業利益	542.1	16.6%	543.7	18.2%	99.7%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	344.6	10.6%	351.8	11.8%	98.0%



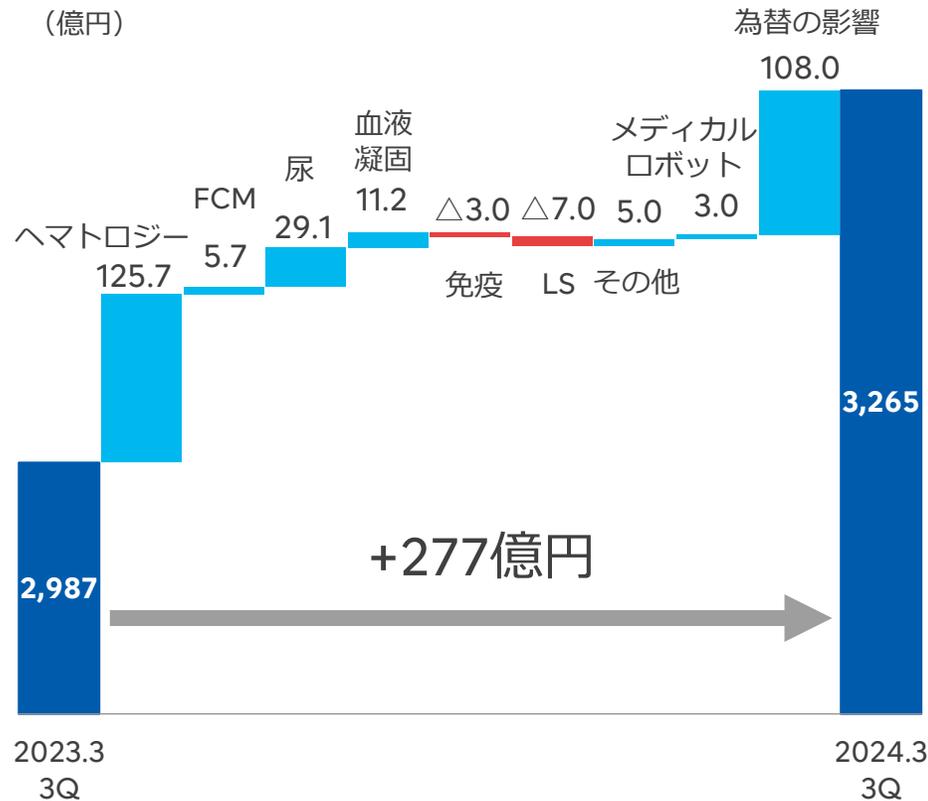
- **売上高** : 海外地域の2桁伸長により、増収を達成、過去最高
- **営業利益** : 売上原価改善による粗利増加も、販管費の増加やその他営業損益により、横ばい
 - **為替の影響** : 売上高 +108.0億円、販管費 +35.9億円、営業利益 +66.6億円
 - **前年同期為替レート適用の場合** : 売上高 105.7%、販管費113.1%、営業利益 87.4%
- **四半期利益** : 法人税の増加などにより、減益

※為替差損益 : +1.9億円 (前年同期比+9.6億円)

	2024年3月期3Q	前年同期
1USD	143.3円	136.5円
1EUR	155.3円	140.6円
1CNY	20.0円	19.9円

売上高の増減要因（事業別・分野別）

事業別・分野別売上高



ヘマトロジー分野は、新興国や現地生産化を推進した中国を中心に伸長した他、尿・血液凝固分野も増収。
免疫分野は、中国が伸長するも、COVID-19関連検査需要減の影響により、減収

(億円)	2024年3月期3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	3,265.2	100.0%	109.3%	105.7%
ヘマトロジー	1,953.2	59.8%	111.3%	107.2%
FCM	24.0	0.7%	137.7%	132.7%
尿	279.3	8.6%	116.3%	112.1%
血液凝固	508.3	15.6%	103.8%	102.3%
免疫	165.0	5.1%	98.7%	98.2%
生化学	24.8	0.8%	94.0%	92.2%
ライフサイエンス	151.1	4.6%	101.2%	95.3%
その他	139.1	4.3%	111.8%	105.7%
ダイアグノスティクス事業	3,245.1	99.4%	109.3%	105.6%
メディカルロボット事業	20.1	0.6%	117.6%	117.6%

COVID-19関連検査（ライフサイエンスと免疫およびその他に含まれる）

2024.3期3Q：20.3億円（国内のみ）

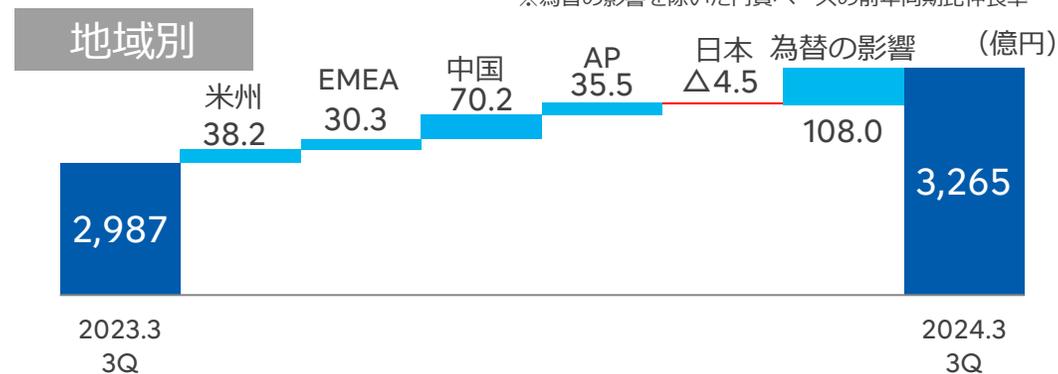
（参考）2023.3期3Q：51.5億円（国内46.7億円、海外4.7億円）

売上高の増減要因（地域別・品目別）

中国、APが2桁伸長し、グループの成長をけん引

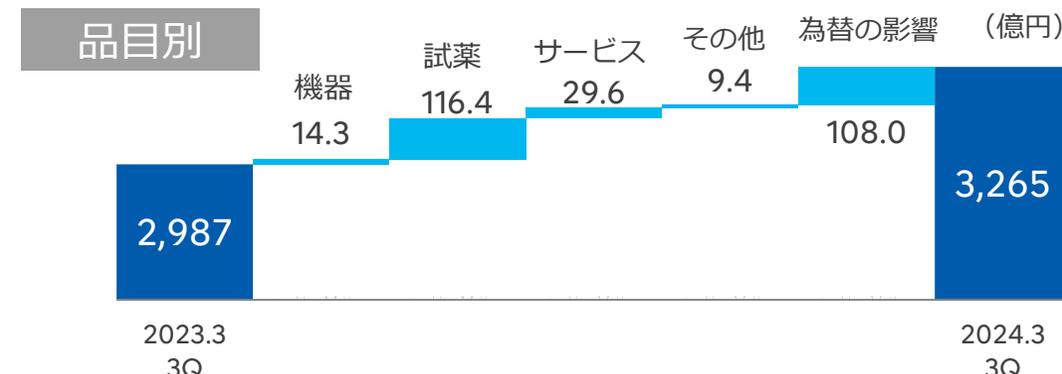
(億円)	2024年3月期3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	3,265.2	100.0%	109.3%	105.7%*
米州	853.1	26.1%	110.5%	105.4%
EMEA	928.3	28.4%	109.7%	99.3%
中国	734.6	22.5%	111.2%	110.8%
AP	316.0	9.7%	116.8%	113.1%*
日本	433.1	13.3%	99.0%	-
機器	686.6	21.0%	106.6%	102.2%*
試薬	1,997.1	61.2%	109.6%	106.4%*
サービス	447.9	13.7%	112.1%	107.4%*
その他	133.5	4.1%	110.5%	107.8%*

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率



地域別の主な増減要因 ※以下のコメントは現地通貨ベースで記載

米州	<ul style="list-style-type: none"> 過去最多の受注を獲得し、ヘマトロジー・尿分野とも好調に推移し、増収を達成
EMEA	<ul style="list-style-type: none"> 直販化したサウジアラビアやスペインなどの伸長により、特殊要因（ロシア・COVID-19）をカバーし、横ばい。 特殊要因を除くと+5.4%の増収
中国	<ul style="list-style-type: none"> 検査数の回復、現地生産化効果により、ヘマトロジー分野が大幅伸長、また尿・免疫分野における試薬の伸長もあり2桁増収を達成
AP	<ul style="list-style-type: none"> 各国のビジネスは好調に推移、機器・試薬ともに全分野において伸長し、2桁増収を達成
日本	<ul style="list-style-type: none"> ヘマトロジー、尿、血液凝固分野の伸長により機器は好調も、COVID-19関連検査需要の減少を受け、横ばい



米州 (地域別)

(Million USD)	2024年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	595.4	565.1	105.4%	110.5%
機器	151.4	144.2	105.0%	109.9%
試薬	284.2	266.5	106.7%	111.8%
サービス・その他	159.7	154.4	103.5%	108.6%

売上高推移 (Million USD)



出荷・検収遅延などによる4Qへの期ずれがあるも、ヘマトロジー分野や尿分野の伸長などにより、増収期ずれ（11Million USD）を除くと、対前年+7.5%の伸長

● 機器

- ✓ ブラジルおよび米国において、尿分野が伸長。加えて、ヘマトロジー分野がブラジルで伸長し、増収

● 試薬

- ✓ ヘマトロジー・尿分野において、北米、中南米ともに機器設置台数の増加により、伸長し、増収
- ✓ 大手検査センター（Labcorp）LDT向けの血液中のアミロイドβ検査試薬も、堅調に推移

EMEA (地域別)

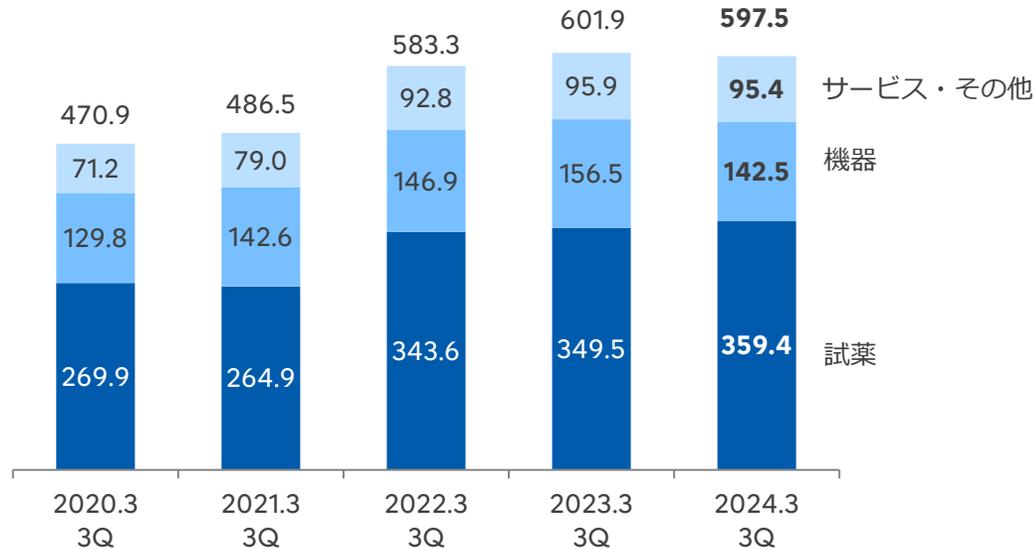


(Million EUR)	2024年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	597.5	601.9	99.3%	109.7%
機器	142.5	156.5	91.1%	100.6%
試薬	359.4	349.5	102.9%	113.7%
サービス・その他	95.4	95.9	99.5%	109.9%

直販化したサウジアラビアやスペインの伸長などにより、ロシアの大幅減収を補い、横ばいを維持

※特殊要因（ロシア・COVID-19）の影響を除くと現地通貨ベースで+5.4%の伸長。ロシア影響は3Qまでで一巡し、4Qへの影響なし

売上高推移 (Million EUR)



● 機器

✓ 直販化したサウジアラビアやスペインなどは増収も、前年イタリアで大型案件を獲得した影響もあり、減収

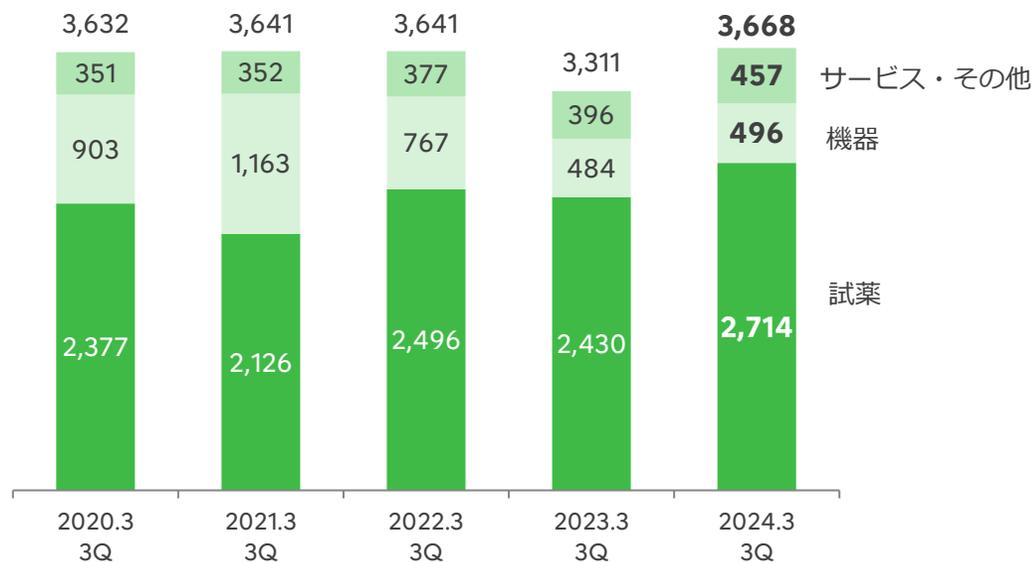
● 試薬

✓ 直販化したサウジアラビアやスペインなどのヘマトロジー分野が伸長し、増収

中国（地域別）

(Million CNY)	2024年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	3,668.5	3,311.8	110.8%	111.2%
機器	496.7	484.3	102.6%	102.5%
試薬	2,714.2	2,430.8	111.7%	112.2%
サービス・その他	457.5	396.8	115.2%	116.1%

売上高推移 (Million CNY)



- 検査数回復や現地生産品の拡充により、政府調達方針の影響はあるも、機器・試薬ともに、増収
- 売上高はコロナ禍前の水準まで回復
- 現地生産品3機種の新薬事認可を取得

● 機器

- ✓ 現地生産品の拡大を進めたヘマトロジー分野が2桁伸長し、増収
- ✓ 現地生産品導入に向けた販売調整もあり、尿分野がスローダウンしたが、4Qに回復を見込む

● 試薬

- ✓ ヘマトロジー・尿・免疫分野において2桁伸長し、増収



外部環境のインパクトは概ね出尽くし、機器の現地生産移管も順調に進み「ニューノーマル」な環境下に合わせた施策を推進し、ビジネスを拡大していく

(2024年3月期2Q決算資料より)

緑字：3Q進捗を更新

- ✓ 機器の現地生産移管推進
(すでに6機種が移管完了、1機種を上市完了、2機種は薬事認可取得完了)

政府調達方針

集中購買

- ✓ 直接販売・サービスへのシフト
- ✓ コストダウンした試薬の市場導入
- ✓ 安徽省における免疫試薬の入札を獲得

中国市場の動向

- 高齢化によるヘルスケア需要の増大
- 1人当たり国民医療費が先進国水準へ
(現状は、日本の1/7程度)
- 約2,000の2級病院を3級病院へアップグレードすることによる需要増 (千県工程)
- 景気減速による経済の停滞
(ヘルスケア市場への影響は軽微)

腐敗防止運動

- ✓ 一部、入札遅延などもあるものの、当社への影響は軽微、引続き注視、3Qにおいては大きな影響はなし
- ✓ 市場環境の健全化は、当社に有利

競合他社の台頭

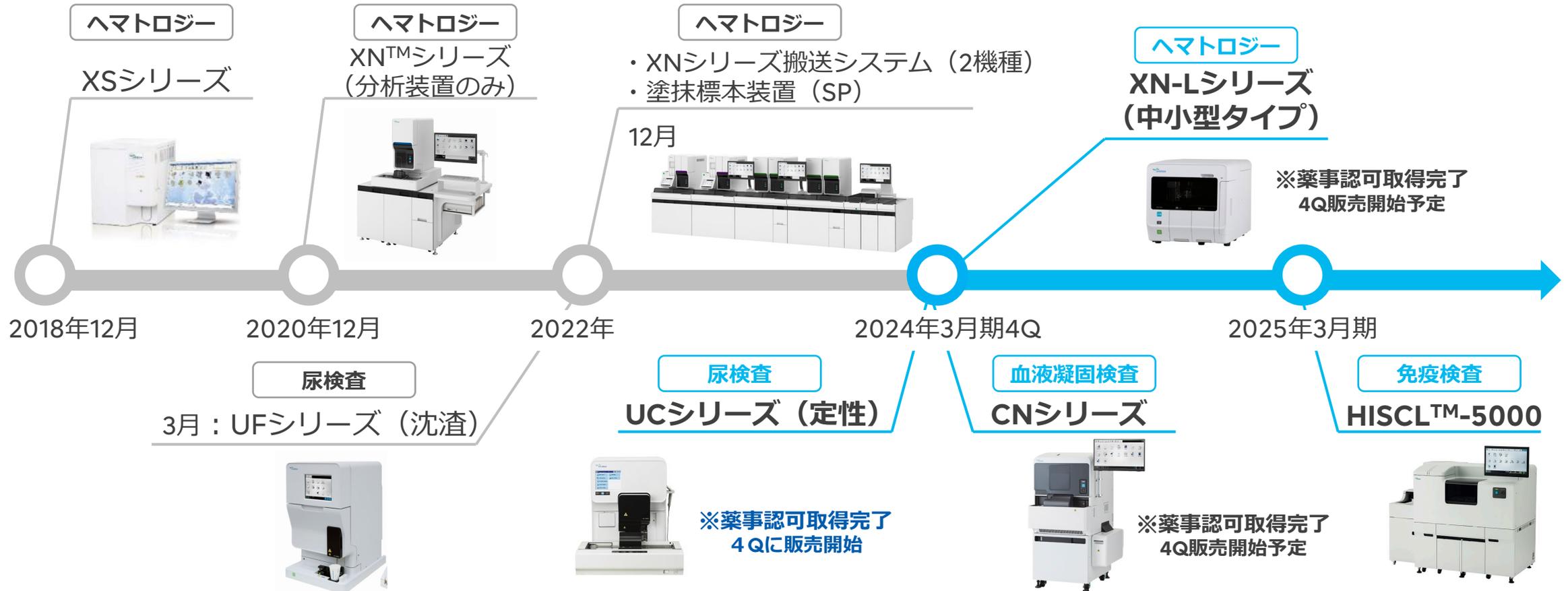
- ✓ 競争力のあるユニークな製品の開発推進

中国への生産移管スケジュール

新たに3機種の新薬事認可を取得し、今期中の上市に向けて生産を開始

生産移管完了 (6機種)

生産移管予定 (4機種)



AP（地域別）

(億円)	2024年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	316.0	270.6	116.8% (113.1%)
機器	71.9	59.4	121.0%
試薬	210.0	188.4	111.4%
サービス・その他	34.1	22.7	150.0%

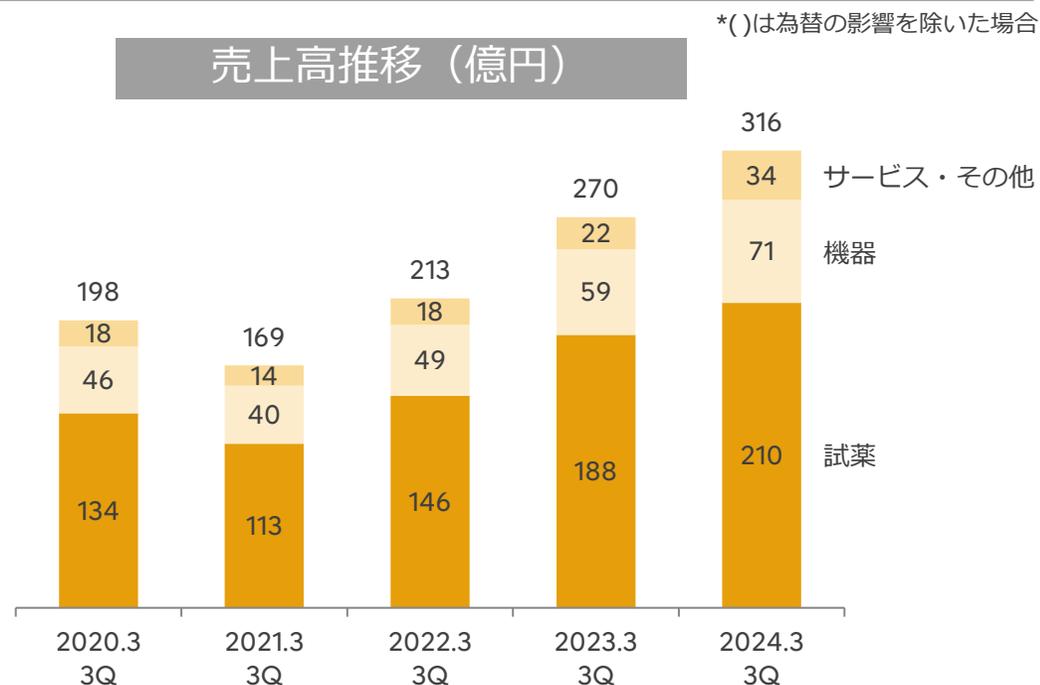
引き続き、医療インフラ投資の需要は高く、機器設置台数の増加もあり、全分野において2桁増収を達成

● 機器

✓ヘマトロジー分野が各地域で好調に推移した他、尿・血液凝固分野はタイやインド、免疫分野はインドネシアや韓国などで大幅伸長し、2桁増収

● 試薬

✓ 機器設置台数の増加に伴い、インドやオーストラリア、韓国を中心にヘマトロジー分野が好調に推移
 ✓ 免疫分野が好調に推移するなど、全分野において伸長し、2桁増収



日本（地域別）

(億円)	2024年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	433.1	437.6	99.0% (105.6%)
ダイアグノスティクス事業	413.0	420.5	98.2% (105.1%)
機器	65.1	57.3	113.6%
試薬	277.7	293.9	94.5% (104.1%)
サービス・その他	70.1	69.1	101.4%
メディカルロボット事業	20.1	17.0	117.6%

XR™シリーズや血液凝固分野のCNシリーズが好調に推移し、機器は2桁増収も、COVID-19関連検査需要の減少により、減収

ダイアグノスティクス事業

● 機器

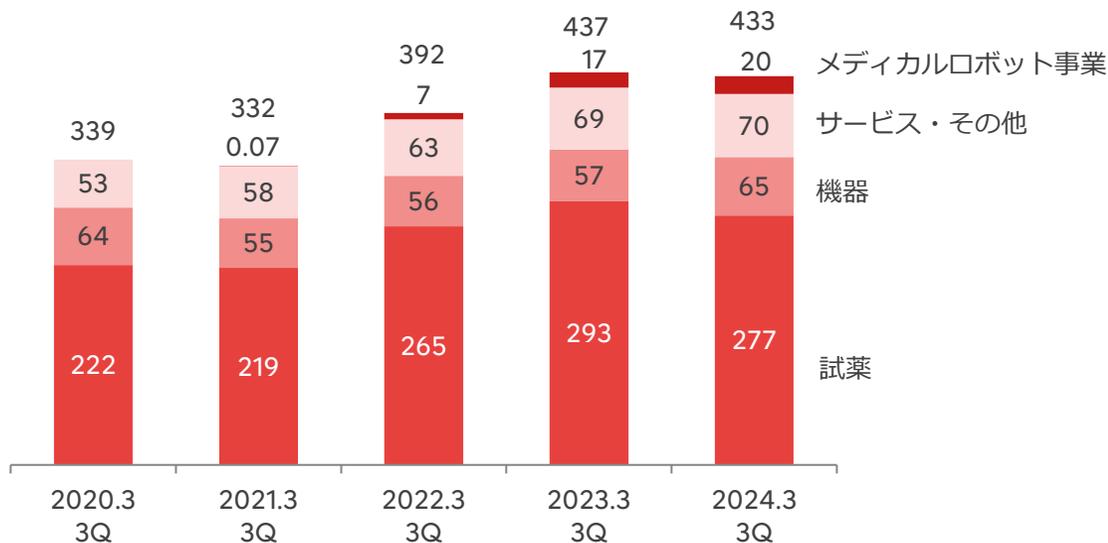
- ✓ ヘマトロジー分野のXRシリーズや、血液凝固分野のCNシリーズが好調に推移、加えて尿分野の中小規模施設向け新製品導入効果もあり、2桁増収

● 試薬

- ✓ 血液凝固分野における血栓項目の採用拡大も、COVID-19関連検査需要の減少（△26.4億円）などにより、減収

*()はCOVID-19の影響を除いた場合

売上高推移（億円）



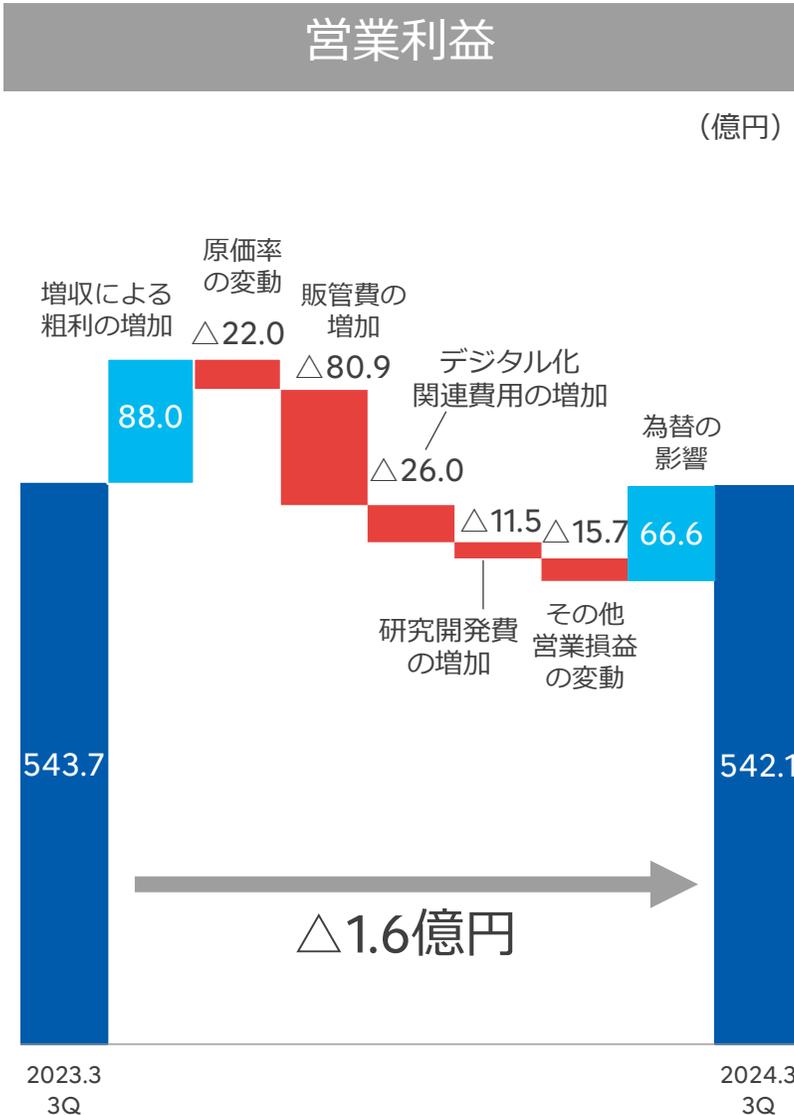
メディカルロボット事業

- ✓ 第3四半期に5台導入（今期累計：9台※）
- ✓ 販売開始以来の累計台数は44台
- ✓ 累積手術数は3,314症例（2023年12月末時点）

※販売スキームにより、売上計上の額や時期および期間が様々であり、導入台数と売上高は比例いたしません。

営業利益の増減要因

※下記数値・コメントは為替の影響を除く



- 増収による粗利の増加：+88.0億円
 - 原価率変動による影響：△22.0億円（0.7pt 悪化）
 - ✓ 改善要因：輸送費高騰の緩和 0.3pt
 - ✓ 悪化要因：サービスコスト 0.6pt、製品等の原価悪化 0.4pt
 - 販売管理費の増加：△80.9億円
 - ✓ 労務費：直販に伴う人員増加やインフレ影響による増加：約60億円
 - ✓ 経費：規模拡大や販促活動による増加：約20億円
 - デジタル関連費用の増加：△26.0億円
 - 研究開発費の増加：△11.5億円
 - ✓ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
 - その他営業損益の変動：△15.7億円
 - ✓ 前年の火災補償金による変動
-
- 為替の影響：+66.6億円

3

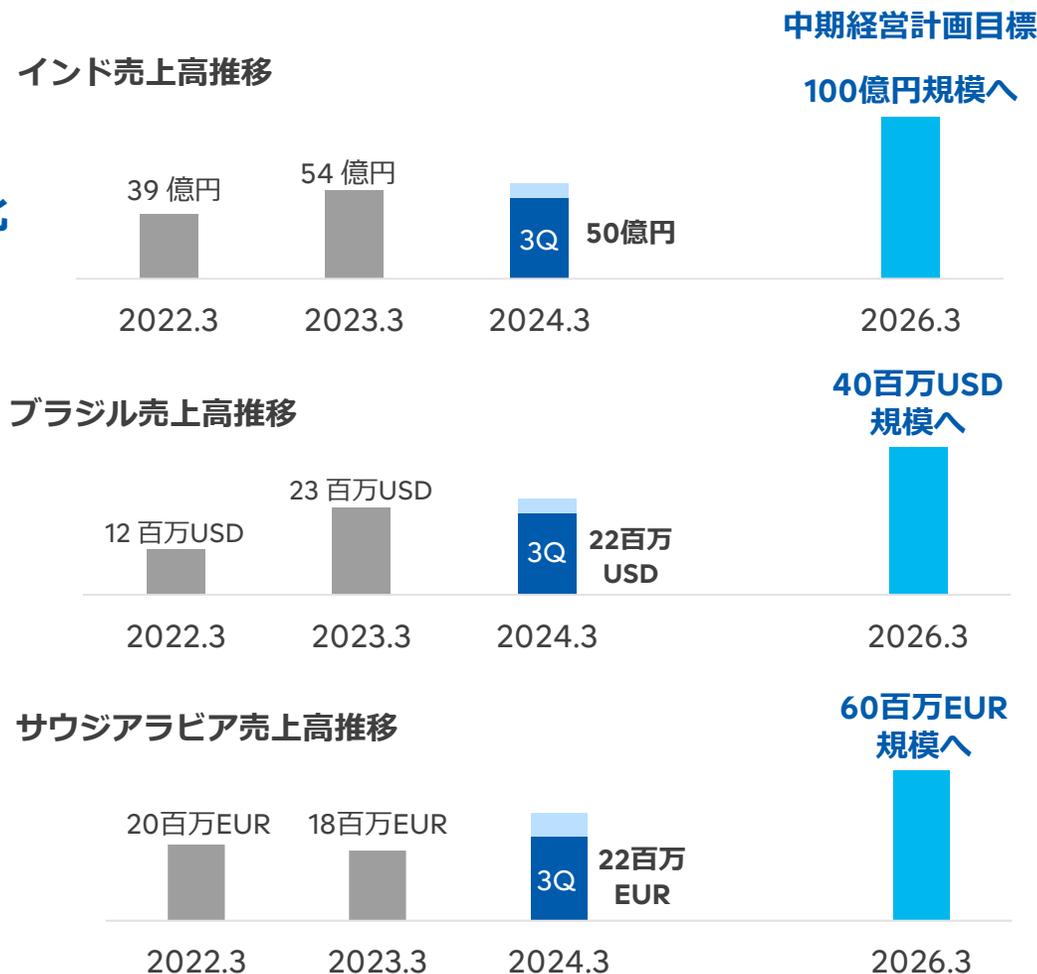
今後の成長に向けた取り組み

～ 新興国戦略・既存事業の強化・新規事業の拡大 ～

インド・ブラジルおよびサウジアラビアを中心に大幅伸長し、3Q時点で前年同等以上の実績
 経済・医療品質の向上により、大幅な市場成長が見込まれる地域へ積極投資し、機会獲得



■ グローバルサウス



既存事業の強化（免疫・血液凝固・ライフサイエンス）



免疫分野

既存アセットの活用・新たなアライアンスによりグローバル展開を急加速

- ✓ 米国において、血液中アミロイドβ検査試薬（LDT向け）の販売が好調、大手検査センター（Labcorp）と連携して推進
- ✓ 富士レビオHD株式会社との業務提携基本契約締結による新規検査項目の開発加速、グローバル展開

血液凝固分野

圧倒的なグローバルシェアNo.1を目指す

- ✓ シーメンス社とのグローバルOEM契約による米国・欧州での販売開始（2025年3月期）

ライフサイエンス

事業のピボット

● 短期的：収益性の向上

- ✓ OSNA™
- ✓ FISH（Oxford Gene Technology）
- ✓ PCR（がん、感染症等）



安定収益源であるビジネスのグローバル展開

選択と集中

- ✓ ラボアッセイ事業から検査キットビジネスへ
- ✓ BEAMing からPSS（Plasma-Safe-SeqS）へ



抜本的な検査コスト低減

- ✓ 株式会社日立ハイテクとの協業などによる新たな遺伝子検査システムの開発



● 中長期的：収益化

- ✓ リキッドバイオプシー
（Sysmex Inostics, Inc.）
- ✓ シーケンス

新規事業の拡大

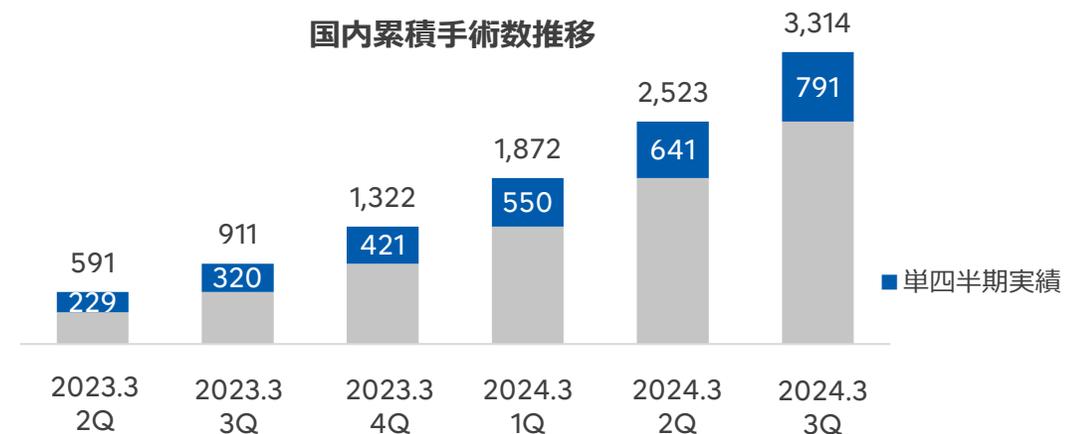
再生細胞医療

- **2023年12月株式会社メガカリオンを連結子会社化**
 - ✓ iPS細胞由来血小板製剤の事業化を加速
 - ✓ 検査機器の精度管理に用いる標準物質の原材料への応用
 - **ヘマトロジー分野で培った分析技術を活かして、ヒトiPS細胞由来血小板製剤を実用化し、血小板輸血時のリスク低減に貢献**
 - ✓ アレルギー反応などの副作用低減
 - ✓ 血小板輸血不応症※の発症低減
- ※繰り返し輸血を受けると、抗体が作られ輸血の効果が得られなくなる症状

安全な医療の実現、患者さんのQOL向上

メディカルロボット事業

- ✓ 2023年7月にバージョンアップモデルを販売開始
- ✓ 累積手術数 : 2024年3月期3Q時点で3,000件を超え、順調に推移
- ✓ 累計導入台数 : 44台 (今期9台増)
- ✓ 認定医師数 : 570名 (今期283名増)
- ✓ **2023年11月に呼吸器外科への適応申請を実施**
- ✓ 2023年9月にシンガポールの Health Sciences Authority (健康科学庁) より**販売承認を取得**



4. 2024年3月期 通期業績予想

通期目標達成に向けた取り組み

(2024年3月期2Q決算資料より、更新)

- 売上高の伸長
 - ✓ 日本、EMEA、APにおけるXRシリーズおよび中国、米州におけるXNシリーズとBT-50の拡販
 - ✓ 中国の現地生産品の拡販（ヘマトロジー分野の上位、中下位機種、尿分野の定性分析装置、血液凝固分野）および免疫分野における新規試薬項目の拡販
 - ✓ シーメンス社向け機器販売の増加（グローバルOEM契約に基づく供給開始）
- 原価率低減
 - ✓ 原材料を自社化した試薬の拡販
 - ✓ 一部地域、品目における価格転嫁
 - ✓ 半導体など高騰していた資材の価格低下
- 事業・研究開発の再整理による販管費の効率化
 - ✓ 優先順位付けの見直し
 - ✓ 効率的な資源配分によるコスト低減

2024年3月期 通期業績予想

2023年11月に修正した通期業績予想から変更なし

(億円)	2024年3月期 3Q (4月-12月)		2024年3月期 通期 (4月-3月)		
	実績	構成比	修正公表	構成比	対前年
売上高	3,265	100.0%	4,600	100.0%	112.1%
売上原価	1,547	47.4%	2,175	47.3%	111.9%
販売費及び 一般管理費	958	29.4%	1,255	27.3%	111.7%
研究開発費	232	7.1%	345	7.5%	111.1%
その他営業損益	15	0.5%	5	0.1%	48.6%
営業利益	542	16.6%	830	18.0%	112.7%

投資計画

設備投資 **478**億円

減価償却費 **350** 億円

● 想定為替レート

	通期 (2023年5月公表)	通期 (2023年11月修正)	下期 (2023年11月修正)	前期実績 (23年3月期)
1 USD	133.0円	143.0円	145.0円	135.5円
1 EUR	143.0円	154.2円	155.0円	141.0円
1 CNY	19.2円	19.9円	20.0円	19.8円

● 為替感応度の概算値 (年間)

	売上	営業利益
USD	7.9億円	1.8億円
EUR	5.8億円	1.4億円
CNY	54.6億円	41.8億円

予想配当額

● 期初予想から配当額は変更なし

	中間	期末	年間	配当性向
2023年3月期	40円	42円	82円	37.5%
2024年3月期 (案)	42円	42円	84円	33.8%

当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

株式分割について

目的

投資単位当たりの金額の引き下げおよび株式の流動性向上により、より投資しやすい環境を整え、企業価値向上を実現する

分割の方法

2024年3月31日（日）を基準日として、普通株式1株につき、3株の割合をもって分割

* 基準日である2024年3月31日（日）は休日のため、実質的には2024年3月29日（金）

分割の日程

- 基準日公告日 2024年3月15日（金）
- 基準日 2024年3月31日（日）
- 効力発生日 2024年4月1日（月）

期末配当

2024年3月31日を基準日とする2024年3月期の期末配当は、株式分割前の株式を対象に実施

* 1株当たりの期末配当金は42円を予定（2023年5月11日公表から変更なし）

(補足資料)

単四半期業績推移 (1Q→2Q→3Q)



売上原価率の大幅改善により、営業利益率も改善
 販管費はインフレ影響を受けるも、研究開発費含めてコントロール

(億円)

	1Q (4月-6月)		2Q (7月-9月)		3Q (10月-12月)	
	2024年3月期	構成比	2024年3月期	構成比	2024年3月期	構成比
売上高	953.5	100.0%	1,173.4	100.0%	1,138.2	100.0%
売上原価	449.4	47.1%	567.4	48.4%	530.6	46.6%
販売費及び 一般管理費	301.4	31.6%	324.4	27.6%	332.5	29.2%
研究開発費	71.3	7.5%	78.8	6.7%	82.0	7.2%
その他の営業損益	1.4	0.2%	2.6	0.2%	10.9	1.0%
営業利益	132.7	13.9%	205.4	17.5%	203.8	17.9%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	86.2	9.0%	135.6	11.6%	122.7	10.8%

トピックス（2023年10月～2024年2月）

ダイアグノスティクス事業

- 富士レビオHD株式会社と免疫検査領域にて提携、試薬原料供給に関し基本合意（日本）
- 血液から肝線維化の進行度を定量的に測定する免疫検査用試薬「HISCL M2BPGi™-Qt 試薬」が保険適用（日本）
- 再生細胞医療領域への取り組み加速に向けて株式会社メガカリオンを子会社化（日本）
- 株式会社日立ハイテクと新たな遺伝子検査システムの共同開発に向けて合意（日本）
- 血液中アミロイドβ検査試薬の販売を欧州に拡大（EMEA）
- イタリアにおける事業拡大に向けて、直接販売・サービス体制を強化（EMEA）
- 中国現地生産品目の拡充に向けて、新たに3機種の新薬事認可を取得（中国）

メディカルロボット事業

- 手術支援ロボット「hinotori™ サージカルロボットシステム」呼吸器外科への適応申請（日本）

サステナビリティ

- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に8年連続選定
- 「Global 100」（世界で最も持続可能な企業100社）に5回目の選出

XRシリーズ（ヘマトロジー分野）導入スケジュール

EMEA XRシリーズおよび検体搬送システム商品群（BT-50など）を販売開始（2023年7月）

日本 3Qも堅調に推移し、ヘマトロジー分野の機器売上は2桁伸長を達成（2022年7月よりBT-50などを販売開始）

AP 2024年3月期3Qより販売開始

中国 BT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして販売開始、XRシリーズは2024年3月期4Qに販売開始予定

米州 BT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして販売開始、XRシリーズは2025年3月期より販売開始予定



XRシリーズと検体搬送システムの接続イメージ

Together for a better
healthcare journey